

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：太陽の子 新子安保育園	種別：認可保育園
代表者氏名：半澤 裕理	定員（利用人数）： 36名
所在地：〒221-0021 横浜市神奈川区子安通3-341-1 クリオ新子安ファースト1階	
TEL：045-444-2102	ホームページ： <a href="http://www.kidslife-nursery.com">http://www.kidslife-nursery.com</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2010年10月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：HITOWAキッズライフ株式会社	
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員 4名
専門職員	（専門職の名称） 名 栄養士 1名
	保育士 14名
	看護師 1名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等）
	保育室1フロア(乳児保育室、幼児保育室)
	事務所、調理室、乳幼児トイレ、大人トイレ、更衣室、沐浴室

③ 理念・基本方針

保育理念「つながり保育」

「心が動く体験」と「豊かな対話」で、つながりを創造する

1. 子どもとつながる：「主人公」になる
2. 保護者とつながる：「共鳴」する
3. 地域とつながる：「市民」になる
4. スタッフ同士つながる：「チーム」になる

保育方針

のびのび すくすく にこにこ

- ・安心できる人間関係の中で、多様性を尊重します
- ・心の動く体験と深い対話で学びのプロセスを大切にします
- ・子どもの「やりたい」から始まる保育環境をデザインします
- ・学び続け、専門性を発揮するチーム保育を行います

保育目標

- ・自信をもって個性を発揮することも
- ・たくさんの“好き”を見つけチャレンジすることも
- ・“違う”を楽しみ友達とつながることも

④ 施設・事業所の特徴的な取組

各クラス6名、定員36名の少人数、1フロアの保育室をロッカー等で仕切られ、他クラスとの交流が日常的に持ちやすいアットホームな保育園です。幼児クラスは3クラス合同保育を行っています。クラスの隔たりが少ないため、全職員が子ども、保護者全員に親しみを持ち、見守っています。

季節感を取り入れた活動や子ども達と一緒に考えながら「子ども達の好きなこと」

「やってみたいこと」「経験してもらいたいこと」を組み合わせた活動計画を立案し、柔軟性をもって実施しています。

保育の取り組みでは、「ふぁんぱりん」（こども英語）、「絵本」との出会いなど、たくさんの経験から「好き」が見つかる保育を実施しています。「ふぁんぱりん」は月2回、国際講師からのレッスンを0歳児から楽しむことができます。又、「絵本巡回」を近隣姉妹園同士で2か月ごとに行い、多くの絵本に親しんでいます。

日常的には近隣の公園へ行き、自然の中で遊び、興味関心を広げ、心身の成長を促しています。JR、京浜急行の駅が近く、商店街や地域の施設、病院なども多く、地域交流が年々広がってきています。

「連絡帳」は今年度4月から保育ICTシステムを取り入れています。欠席の連絡、園からの手紙や案内の配信などにも利用、ICT化を図っています。地域の方からの園見学や子育て支援活動参加申し込みを保育園のホームページから申し込みできるようになりました。

本社とは園の運営について相談がしやすく、労務関係の相談、各研修が充実し、専門性を高められるように連携を密にとることができています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 6月 6日（契約日） ～ 2024年 1月 15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成30年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

#### チーム保育を重視し、全体を見渡せる体制を整えている

全職員が保育方針を共有し、個々の子どもの状況への理解と柔軟な対応に努めており、助け合いの精神を持ち連携しながら保育を行うことを大切にしている。職員間のコミュニケーションが円滑であり、少人数保育であることやワンフロアであることを活かし、声を掛け合いながら保育を行うことができる環境を整えている

#### 子育て支援イベントへの参加など地域との連携を重視している

地域との密接な連携を重視し、未就園児家庭への保育活動のサポートや地域イベントへの積極的な参加を行っている。特に「こどもみらいプロジェクト」への参加を通じて、他の保育園と協力し、地域全体で子どもたちの成長をサポートする活動を展開したり、防災フェアへの参加や年数回の絵本読み聞かせ会など、地域の乳幼児を対象としたイベントも実施するなど、地域社会とのつながりを強化している。これらの活動を通じて、地域の子育て支援と子どもたちの健全な発達につながる取り組みを積極的に行っている。

#### 保育の内容や方法にも配慮し、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整えている

日々の保育や夏祭りや運動会、発表会などの行事を通して、集団の中で子どもたちが自分の力を発揮し、友だちと楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境づくりを行っている。子どもの意見を大切にし、話し合いを行ったり、アイデアを出し合ったりして、意見を取り入れるように配慮をしている。また、地域の方の協力を得ながら、子どもたちに蝶の成長過程の観察体験を通して、命の尊さや大切さを学び貴重な機会を提供している。

今後期待される点

**課題に対して、より効果的な施策を模索し、保育の質の向上に向けて取り組んでいくことに期待したい**

保育室内の設備面においては、スペースに限りがある中で改善を重ねているが、収納方法などについては改善の余地も見受けられるため、本社と相談のうえでの改善に向けた取り組みが期待される。また、子どもたちの体力面については、雨の日の過ごし方や運動遊びの取り入れ方などに関して課題としており、現在検討中である。

**中・長期計画の策定と事業計画のさらなる具体化と実行を期待したい**

園の中長期計画は、「安定した園運営」と「子ども主体の保育」というビジョンを実現するための基盤となるものだが、現在のところ明確な中長期計画のフォーマットがないため、本社とともに検討されることが望まれる。また、単年度の事業計画については、園独自の課題への実践的な対応を含む内容であることが求められる。さらに、計画は職員や保護者に共有し、事業計画の実施状況を評価することにも期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今年度、第三者評価受審をしたことから保育園の運営全般を振り返ることができました。各項目を確認しながら、できていること、できていないこと、などがわかり、今後取り組む課題が明確化された良い機会になりました。今回の結果については全職員で共通理解と共通認識の上、運営の強化を図り、保育理念の「つながる保育」をより良い形にできるように努めたいと思います。

保護者の皆さまにはお忙しい中、アンケートへのご協力をありがとうございました。保護者の皆さまとの信頼関係や地域との温かなつながりを大切にしながら、明るい未来を担う子ども達が健やかに育つように環境整備と健全な運営をして引き続き行ってまいります。

この度は様々なご教示をいただき感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり